

町の考え方を問う

一般質問

12月定例会では環境問題・福祉問題など、町政全般へ10名18項目にわたり質問がありました。なお、質問者及び質問項目は、右の表のとおりです。

- 勝俣俊彦 (P 4)
 - ・第5次総合計画の今後の方針と計画について
 - ・環境先進観光地箱根の基本構想について
- 勝呂昌子 (P 4)
 - ・生活の満足度について
- 勝俣公好 (P 5)
 - ・地域防災計画について
 - ・防災行政無線の情報伝達について
- 杉山幹雄 (P 5)
 - ・箱根町役場の土日開庁について
 - ・芦ノ湖の自然環境を守ることにについて
- 二見嘉彦 (P 5)
 - ・(仮称)箱根火山学習センターとジオパーク構想について
- 村野由紀子 (P 6)
 - ・町長の所信表明について
 - ・箱根町営施設(総合体育館・総合保健福祉センター・森のふれあい館)の経営状況について
- 川端祥介 (P 6)
 - ・町長の所信表明について
- 山田和江 (P 6)
 - ・2市8町の合併問題について
 - ・町職員の待遇改善について
- 折橋尚道 (P 7)
 - ・箱根町景観条例とそれに伴う箱根町景観計画の制定
 - ・観光庁との連携について
- 沖津弘幸 (P 7)
 - ・(社)箱根町社会福祉協議会の更なる充実(活用)と町福祉事業の効率化を図るための考え方について
 - ・湯本地域のまちづくりについて
 - ・特色ある箱根教育について

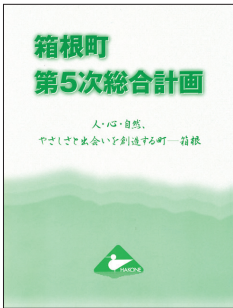
※上記の表による各議員の質問項目のうち、1項目について質問内容と町長の答弁を要約して掲載をしています。

企画 第5次総合計画の今後の方針と計画について

金融不況による世界経済の落ち込みと悪化する国内の経済状況及び雇用問題は、箱根にとっても深刻な事態となっており、経済状態が良くならないと、町の税収は期待できなく、第5次総合計画の見直しや事業の先送りなども視野に入れなければならないと考えるが、具体的な変更について伺う。

A 事業の見直しについて、決算特別委員会では、意見やご

意は、住民のニーズにあたっては、住民のニーズにあたって



第5次総合計画

ものであることや、費用対効果の確認、民間活力の有効活用、経費を伴わない事業を創り出すなど、第5次総合計画の将来像である「人・心・自然、やさしさ」と出会いを創造する町「箱根」の実現に向け、従来にもまして無理・無駄のない計画づくりをしていきたいと考えている。

企画 健康福祉

生活の満足度について

Q 次の2点について伺う。1 どのように町民の生活満足度を受けとめているかについて

2 地域福祉の担い手として住民の関心度はどうか、また、支え合い、地域の中での活動を進めるため、各地域のテーマを設け、普及を図る必要について

A 総合計画策定時のアンケート結果では、「住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方が約37%あり、11月分の転出者へのアンケートでは、約56%の方が「箱根町は住みやすかった」という回答であった。

また、本町では高校生の通学費補助や高齢者の通院費補助は、近隣の市町にはない事業も実施しており、県西地域の中でも町民へのサービス水準は高く、こうしたことがアンケート結果に表れていると思つては、生活満足度については、すべての方の生活満足度を向上させることは、大変難しいことであると思うが、町のさまざまな行政サービスを通して住民満足度の向上に努めていきたい。2点目については、まず、住民の関心度については、町にはボランティア団体の登録が11団体、191名のボランティアが、また、個人ボランティアとして70名の方がおり、近隣の町と比べると団体数、人数とも多いので、住民の地域福祉への関心はあるかと思つている。次に、各地域のテーマを設け、普及を図る必要であるが、地域の中でいきいきと日常生活を送ることができ、社会をどうつくっていくかは、地域で暮らす一人ひとりにとって重要な問題であるが、それぞれのニーズは多種多様であり、行政のサービスだけでは支えきれないものでないのか、町としても支援が必要となれば、社会福祉協議会を通して支援をしていきたい。